

2008年9月22日(月)



NPO法人ブロードバンド・アソシエーション  
Broadband Association

## P2P基本提言

### P2P関連問題研究会メンバー

江崎浩(東京大学・委員長)、石川宏(NTT-AT・副委員長)  
斉藤賢爾(慶應義塾大学)、津田大介(IT・音楽ジャーナリスト)  
石橋聡(NTT)、伊勢幸一(ライブドア)、壇利光(弁護士)、  
古川享(慶應義塾大学)、持田侑宏(フランステレコム)、  
安田浩(東京電機大学)、山下達也(NTTコミュニケーションズ)、  
吉開範章(日本大学)、早稲田祐美子(森・濱田松本法律事務所)、  
飯野嘉郎(ブロードバンド・アソシエーション・事務局)

## 将来のP2Pのあり方について

1. P2P技術への移行は世界的な潮流であるにもかかわらず、日本はその流れに立ち後れている。

その原因として硬直的な(?) 著作権法を含む法律や規定、消極的な産業など多くの原因が挙げられている。日本の国際競争力向上の観点から、立法を含めた諸制度の改善をおこなうべきである。

## 関連する問題の領域

- ネットインフラのコスト負担と効率化
  - きちんとした **維持可能な(Sustainable)インフラ維持**の構造の創造(=構造改革)
- ソフトウェア(制作者)に対する責任
- 未熟な技術(者)への 考え方
  - 「未熟な技術(者)」をどのように育てるか?
- 通信の秘密、表現の自由
- 著作権法、Creative Commons、フェアユース
  - 情報流通の管理責任、コスト回収モデル
  - 「教育」の問題でもある。
- 情報流通の自由度
- **「”大人としての” 問題意識の共有」**

## To Do

1. 「P2P基本提言書」に賛同される方
  - a. 登録先を WEBに挙げます。共同提案者として。
  - b. 本提言書の バージョンアップ
  - c. 個別課題に対する提言書 への展開
    - (\*) 今回は、「コンテンツ配信インフラ」に関する話のみ。
2. 技術シンポジウムの開催
3. グローバルな発信と協調
4. 「送る人、運ぶ人、受ける人」での議論と提言？
5. 「コンテンツフィルタリング」、「青少年ネット規制法」への 議論と対応。
6. 「青少年」に向けた教育・啓発活動